

## 被災地に関する悪質な流言蜚語に注意！！

東日本大震災発生後、被災地における犯罪情勢等について、流言蜚語が流出し、国民の不安を煽っています！！

流言蜚語の氾濫を防止し、不安を解消するためには、

- 不確かな情報を鵜呑みにして安易に他人に流さない
- 報道や行政機関のウェブサイト等、信頼できる情報源で真偽を確かめる

等、一人一人が流言蜚語に惑わされないよう注意することが必要です。

※ 流言蜚語・・・根拠のないデマや不確かな情報



### 《氾濫している流言蜚語の例とその実情》

#### ◆ 犯罪に関するもの

- 海岸沿いのショッピングモール等において略奪が横行している。  
【実情】 被災したホームセンターや工場から商品が持ち去られる等の事案はあるものの、暴徒化した略奪行為は認知されていない。
- 被災地で強盗、窃盗が多発している。（ナイフを持った外国人）窃盗グループが横行している。  
【実情】 被災した商店等から食料品の持ち去りや乗り物盗などは散発しているものの、窃盗グループが大挙して入り込んでいると思われるような事案はみられない。
- 被災地において支援物資の盗難が相次いでいる。遺体から金品を奪ったり、遺体を盗む者（外国人）がいる。  
【実情】 被災3県において、このような事案に関する届け出、申告は確認されていない。

#### ◆ 健康や安全に関し不安を煽るもの

- （石油会社関係者からの情報として）製油所火災の影響で有害物質の含まれた雨が降る。  
【実情】 当該石油会社は、「『LPガス』は家庭用のガスコンロ等でも使用されており、燃焼によって発生した大気が人体へ及ぼす影響は非常に少ないと考えている」と広報している。
- （医師会等からの情報として）原発事故の影響で有害物質の含まれた雨が降る。特定の食品等が放射能の影響を抑える。  
【実情】 日本医師会は、各医師会からはこのような情報は流していないとして注意喚起しているほか、放射線医学総合研究所は、ヨウ素を含む消毒剤等を飲まないよう呼びかけている。
- 某県の水道水に異物が混入しており危ない。  
【実情】 当該自治体から内容を否定する公式発表がなされている。

◆ 県警ホームページ <http://www.police.pref.nagasaki.jp>

◆ 安全・安心まちづくり推進室 E-mail:npp-gaitai@police.pref.nagasaki.jp

※ この資料は、一般にも公開しています